

<国際関係学専攻> (認定課程: 高等学校教諭専修免許(公民))

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	・教科に関する科目では、政治、経済および文化人類学等の専門的基礎知識を学習させ、国際的な視点で公民分野全般を理解させる能力を育てる。同時に研究指導を通じて総合的な理解を深める。
	秋学期	・教科に関する科目では、法律および社会学、フィールドワーク等の専門的基礎知識を学習させる。同時に、研究指導を通して総合的な理解を深める。
2年次	春学期	・国際的視点から、公民に必要な、政策分野・応用研究分野に関する知識および文明論分野にかんする、応用的な知識を学習させる。教科に関する科目では、同時に、研究指導を通して総合的な理解を深める。
	秋学期	・教科に関する科目では、国際的視点から、公民に必要な人文・社会科学分野にかんする、応用的な知識を学習させる。同時に、研究指導を通じて各分野の総仕上げを行う。

(2) 履修モデル

履修年次		具体的な科目名称					
		教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目
年次	時期	科目区分	必要事項	科目名称			
1年次	春学期				国際政治学特論		研究指導A
					国際経済学特論		
					文化人類学特論		
	秋学期				国際法特論		研究指導B
					臨地研究論		
					国際社会学特論		
2年次	春学期				政治経済研究特論		研究指導C
					国際協力論		
					比較文明論		
	秋学期				応用計量経済学		研究指導D
					国際ジェンダー論		
					比較宗教学論		



<言語文化専攻> (認定課程: 高等学校教諭専修免許(国語))

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	日本語学・日本文学の専門性を深め、対外的な発信能力を養成する。
	秋学期	日本語学・日本文学の専門性をより深め、対外的な発信能力を養成する。
2年次	春学期	日本文化の専門性を深め、高等学校国語科教員に相応しい高度な専門職業人としての能力を育成する。
	秋学期	日本文化の専門性をより深め、高等学校国語科教員に相応しい高度な専門職業人としての能力を育成する。

(2) 履修モデル

履修年次		具体的な科目名称							
		教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	
年次	時期	科目区分	必要事項	科目名称					
1年次	春学期				古典文学特論A			研究指導A	
					古典文学特論C				
					近代文学特論A				
					近代文学特論C				
	秋学期				国語教育特論				
					古典文学特論B			研究指導B	
					古典文学特論D				
					近代文学特論B				
2年次	春学期				伝承文芸特論A			研究指導C	
					日本芸能特論A				
	秋学期					伝承文芸特論B			研究指導D
						日本芸能特論B			

<言語文化専攻> (認定課程: 中学校教諭専修免許(英語))

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	・教科に関する科目では、英語学、英文学、応用言語学などの基本的・基礎的な知識を学習し、将来、生徒に英語を理解させる能力を育てる。同時に、研究指導を通じて言語、文化、異文化コミュニケーションへの総合的な知識や技術を得る。
	秋学期	・教科に関する科目では、英語学、英文学、応用言語学などの知識を習得し、将来、生徒に英語を理解させる能力を育てる。同時に、研究指導を通じて、言語、文化、異文化コミュニケーションへの総合的な知識や技術を得る。
2年次	春学期	・教科に関する科目では、英語学、英文学、応用言語学の知見を習得し、特定のテーマにおける研究を通じて、将来、生徒に英語を理解させる知識、能力、技術を育てる。同時に、研究指導や論文執筆を通じて諸領域を包括する総合的な理解を深める。
	秋学期	・教科に関する科目では、英語学、英文学、応用言語学の知見を応用し、特定のテーマにおける研究を通じて、将来、生徒に英語を理解させる知識、能力、技術を育てる。同時に、研究指導や論文執筆を通じて諸領域を包括する総合的な理解や能力を深める。

(2) 履修モデル

履修年次		具体的な科目名称						
		教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期	科目区分	必要事項	科目名称				
1年次	春学期				応用言語学特論A			
					英米文学特論C			
					英語学特論C			
					英語教育法特論A			
	秋学期				応用言語学特論B			
					英米文学特論D			
					英語学特論D			
					英語教育法特論B			
2年次	春学期				英語教育法特論C			
					英語学特論A			
					英米文学特論A			
					応用言語学特論C			
	秋学期				英語教育法特論D			
					英語学特論B			
					英米文学特論B			
					応用言語学特論D			

<言語文化専攻> (認定課程: 高等学校教諭専修免許(英語))

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	・教科に関する科目では、英語学、英文学、応用言語学などの基本的・基礎的な知識を学習し、将来、生徒に英語を理解させる能力を育てる。同時に、研究指導を通じて言語、文化、異文化コミュニケーションへの総合的な知識や技術を得る。
	秋学期	・教科に関する科目では、英語学、英文学、応用言語学などの知識を習得し、将来、生徒に英語を理解させる能力を育てる。同時に、研究指導を通じて、言語、文化、異文化コミュニケーションへの総合的な知識や技術を得る。
2年次	春学期	・教科に関する科目では、英語学、英文学、応用言語学の知見を習得し、特定のテーマにおける研究を通じて、将来、生徒に英語を理解させる知識、能力、技術を育てる。同時に、研究指導や論文執筆を通じて諸領域を包括する総合的な理解を深める。
	秋学期	・教科に関する科目では、英語学、英文学、応用言語学の知見を応用し、特定のテーマにおける研究を通じて、将来、生徒に英語を理解させる知識、能力、技術を育てる。同時に、研究指導や論文執筆を通じて諸領域を包括する総合的な理解や能力を深める。

(2) 履修モデル

履修年次		具体的な科目名称					
		教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目
年次	時期	科目区分	必要事項	科目名称			
1年次	春学期				応用言語学特論A		
					英米文学特論C		
					英語学特論C		
	秋学期				英語教育法特論A		
					応用言語学特論B		
2年次	春学期				英米文学特論D		
					英語学特論D		
					英語教育法特論B		
	秋学期				英語教育法特論C		
					英語学特論A		
					英米文学特論A		
			応用言語学特論C				
				英語教育法特論D			
				英語学特論B			
				英米文学特論B			
				応用言語学特論D			

<心理学専攻> (認定課程: 中学校教諭専修免許(社会))

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	・教科に関する科目では、社会に関連した心理学的知識を習得し、社会に関する理解を深める。 ・教職に関する科目では、教育、学校カウンセリング、生徒指導に関する心理学的知識を習得し、教職についての理解を深める。
	秋学期	・教職に関する科目では、発達、学習、心理検査等、教育実践に関わる心理学的知識を習得し、教職についての理解を深める。
2年次	春学期	・教科に関する科目では、社会に関連した心理学的知識を増強し、社会に関する総合的かつ専門的な知識を養う。 ・教職に関する科目では、臨床心理学、学校カウンセリング、生徒指導に関する心理学的知識を習得し、教職についての総合的かつ専門的知識を養う。
	秋学期	・教職に関する科目では、発達、学習指導、および障害児心理学という教育実践に関わる心理学的知識を増強し、教職についての総合的かつ専門的知識を養う。

(2) 履修モデル

履修年次		具体的な科目名称						
		教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期	科目区分	必要事項	科目名称				
1年次	春学期			教育心理学特論	社会心理学特論A			
				生徒指導特論A				
				学校カウンセリング特論A				
	秋学期				発達心理学特論A			
					学習指導法特論A			
					心理検査法特論A			
2年次	春学期			臨床心理学特論	社会心理学特論B			
				生徒指導特論B				
				学校カウンセリング特論B				
	秋学期				発達心理学特論B			
					学習指導法特論B			
					障害児心理学特論			

備考: A, Bは隔年開講のため、1年次がB、2年時がAとなる年度もある。

<心理学専攻> (認定課程: 高等学校教諭専修免許(公民))

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	・教科に関する科目では、人間の心のあり方やそれを理解する方法論を習得し、人間の心のあり方やその探索手法に関する理解を深める。 ・教職に関する科目では、教育、学校カウンセリング、生徒指導に関する心理学的知識を習得し、教職についての理解を深める。
	秋学期	・教科に関する科目では、人間の思考、ものの見方に関する心理学的知識を習得し、人間の心のあり方や考え方に関する理解を深める。 ・教職に関する科目では、発達、学習という教育実践に密接に関わる心理学的知識を習得し、教職についての理解を深める。
2年次	春学期	・教職に関する科目では、学校カウンセリング、生徒指導に加え障害児や発達に関する心理学的知識を習得し、教職についての総合的かつ専門的理解を深める。
	秋学期	・教科に関する科目では、人間の思考、ものの見方に関する心理学的知識を増強し、人間の心のあり方や考え方に関する総合的かつ専門的知識を養う。 ・教職に関する科目では、発達、学習に加え、障害児心理という教育実践に密接に関わる幅広い心理学的知識を学習させ、教職についての総合的かつ専門的知識を養う。

(2) 履修モデル

履修年次		具体的な科目名称						
		教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期	科目区分	必要事項	科目名称				
1年次	春学期			教育心理学特論				
				生徒指導特論A				
				学校カウンセリング特論A				
	秋学期				発達心理学特論A	知覚心理学特論A		
					学習指導法特論A	認知心理学特論A		
2年次	春学期			生徒指導特論B				
				学校カウンセリング特論B				
	秋学期				発達心理学特論B	知覚心理学特論B		
					学習指導法特論B	認知心理学特論B		
					障害児心理学特論			

備考：A、Bは隔年開講のため、1年次がB、2年時がAとなる年度もある。

<歴史学・地理学専攻> (認定課程: 高等学校教諭専修免許(地理歴史))

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	・教科に関する科目では、歴史学の分野として日本史の専門的知識を習得する。地理学の分野として人文地理学の専門的知識を習得する。同時に歴史学研究Ⅰ、地理学研究Ⅰを通じて、歴史学・地理学の総合的な理解を深める。
	秋学期	・教科に関する科目では、歴史学の分野として日本史の専門的知識を習得する。地理学の分野として人文地理学の専門的知識を習得する。同時に歴史学研究Ⅱ、地理学研究Ⅱを通じて、歴史学(地理学)の総合的な理解を深め、研究指導Ⅰを通じて研究能力を養う。
2年次	春学期	・教科に関する科目では、歴史学の分野として東洋史、西洋史の専門的知識を習得する。地理学の分野として自然地理学の専門的知識を習得する。同時に歴史学研究Ⅲ、地理学研究Ⅲを通じて、歴史学(地理学)の総合的な理解を深め、研究指導Ⅱを通じて研究能力を高める。
	秋学期	・教科に関する科目では、歴史分野として東洋史、西洋史の専門的知識を習得する。地理学の分野としては自然地理学の専門的知識を習得する。同時に歴史学研究Ⅳ、地理学研究Ⅳ、研究指導Ⅲを通じて、各分野の総仕上げを行う。

(2) 履修モデル

履修年次		具体的な科目名称					
		教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目
年次	時期	科目区分	必要事項	科目名称			
1年次	春学期				日本近世史特論Ⅰ		歴史学研究Ⅰ
					日本近代史特論Ⅰ		
					文化地理学特論Ⅰ		
					地誌学特論Ⅰ		
	秋学期				日本近世史特論Ⅱ		歴史学研究Ⅱ
					日本近代史特論Ⅱ		研究指導Ⅰ
					文化地理学特論Ⅱ		
					地誌学特論Ⅱ		
2年次	春学期				中国史特論Ⅰ		歴史学研究Ⅲ
					ヨーロッパ史特論Ⅰ		研究指導Ⅱ
					自然地理学特論Ⅰ		
	秋学期				中国史特論Ⅱ		歴史学研究Ⅳ
					ヨーロッパ史特論Ⅱ		研究指導Ⅲ
					自然地理学特論Ⅱ		